

# ラオス通信・番外編<ラオスの学校>



ラオス通信第7号（発行日：平成19年12月1日）・発行者：北川亜友美  
（青年海外協力隊平成19年度1次隊・村落開発普及員・ラオス国アッタプー県教育局配属）

## ラオスの学校制度

ラオスからサバイディー（こんにちは）。

今回は、「ラオス通信・番外編<ラオスの学校>」と題して、私が小学校巡回を通して感じたラオスの学校事情、とりわけ初等教育（小学校教育）についてお話したいと思います。

ラオスの学校制度は、幼稚園3年、小学校5年（就学前準備教育1年コース併設の場合あり）、中高6年、職業訓練学校・教員養成学校・大学等の高等教育機関で構成されています。義務教育は小学校の5年間です。

### <小学校の様子>

■制服：男子児童は白いシャツに黒いズボン、女子児童は白いシャツにラオスの代表的民族衣装であるシン（巻きスカート）が一般的です。先生も女性であれば、シンをはいています。



■年齢：入学は日本と同じで6歳。しかし、地域によっては、家庭の事情により入学が遅れた生徒がたくさんいます。また、試験による進級制度なので、年齢の異なる生徒が同じクラスで学習することが珍しくありません。



■校舎：上の写真はアッター県の小学校の写真です。海外援助により、左写真のようなコンクリート建ての学校もあれば、右写真のような木造建ての学校もあります。

■就学前準備教室：幼稚園とは異なり、小学校入学前の1年間を小学校内に併設されている就学前準備教室（ティップ）で学ぶことができます。小学校入学までに文字の基礎、簡単な算数などを学びます。  
←<数学習をするティップの児童>



## 小学校の一日☆

では、実際に子どもたちが小学校でどのような一日を過ごしているのか、ご紹介しましょう。

下表は私の任地アッタプー県サマキーサイ郡のとある小学校の4年生の時間割です。（アッタプー県における一例であり、ラオス全国の例ではありません）

月	7:30-9:10		休み時間	9:35-11:30		お昼休み	13:30-15:30	
	全体集合	国語		国語	算数		私たちの身の回り	工芸
火	算数	算数		国語	国語		体育	体育
水	国語	国語		私たちの身の回り	英語		芸術	音楽
木	算数	算数		私たちの身の回り	工芸		掃除・草刈り	
金	国語	国語		算数	芸術		学活	職員会議

授業は2コマ連続で続き、その間に休み時間はありませんが、授業の途中で合唱や体操をして、気分転換をします。休み時間には、校庭にある屋台でお菓子を買って食べることができます。お昼休みはたいの生徒は一度自宅に帰ります。英語は3年生から学びます。また



「私たちの身の回り」という科目は、広い意味での社会・理科科目にあたり、手洗い等、保健分野の項目も学びます。  
←<体育授業の内容はほとんどが体操です>

## 先生たちの工夫☆

私が巡回をしている学校には、日本のように、教材が十分ありません。また、生徒全員が教科書を持っている



ことはありません。そんな中で、先生はできる限りの工夫をしています。教科書を持っていない生徒に分かりやすいように、教科書にある挿絵をカレンダーの裏に書いて教材

として使用したり、低学年の数学習では石を使用したり。絵画教材が全くない中で行う芸術では、白いノートから、見事なバラの花を作り出し、音楽では楽器は一つありませんが、歌や踊りをみんなで楽しく勉強しています。

学校現場に出て、子供たちの可愛い笑顔に沢山出会えましたが、それと同時に素敵な先生たちにも沢山出会えました。今後、先生たちとも協力しながら、学校現場で子どもたちがより一層の笑顔になるような活動を進めていきたいと思っています。